

2015年北海道新幹線「(仮称) 奥津軽駅」開業!

平成23年

8月号

565

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

- 今別町 土砂災害防災訓練…… 1
- 国家公務員の 今別町研修…… 2
- 町のお知らせ…… 3、4
- 議会だより…… 5～7
- 町の元気な子ども達、きらりこの人他…… 8

防災意識の向上と、いざというときのために…



平成23年度 今別町土砂災害全国統一防災訓練

7月12日、平成23年度全国統一防災訓練にともない、今別町での防災訓練が行われました。

当日は、今別駐在所裏の山で、大雨による土砂崩れが発生したと想定し、八幡町地区住民・消防団(第一分団)・今別駐在所・今別保育園の協力のもと、避難訓練も実施されました。

災害対策本部の設置から危険区域内の住民に対する避難勧告の指示、避難誘導、避難所での対応と災害発生から、避難完了に至るまでの一連の流れを、細部にわたって確認しながら訓練を行いました。

また、訓練に参加した皆さんには、訓練終了後、避難所とした開発センターで、県防災施設課による防災講習会も行われ、土砂災害の怖さを認識し、防災に対する意識の向上が図られました。



避難所での受け付け風景。町民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。



災害対策本部の風景



広報車による避難勧告活動



消防団による住民避難の支援



最後は土砂災害の危険性について学びました



園児たちも避難訓練に参加しました



落ち着いて誘導員に従いましょう



車いすを想定した避難



「I♡今中!」(アイラブイマチュウ)

グラウンドに「謎」のメッセージ!?

♥今中!」の文字が浮かび上がりました。

7月6日、今別中学校の校舎側のグラウンドに、文字が出現しました。その正体は、今中をこよなく愛する高坂治樹校長からのメッセージでした。

願いを込めて短冊を飾ります



また、「こでまりの会」による読み聞かせも行われ、入所者は楽しそうに聞き入っていました。

なかやま荘 七夕祭り



読み聞かせも熱心に聞いていました

国家公務員が今別町に研修に来ました



農林水産省
うらべ 織奈さん



財務省
たしま かずき 一基さん



外務省
しのはら のぶくに 信州さん

6月6日から9日までの4日間、地方自治体実地研修として、初任国家公務員3名（リーダー・外務省 篠原信州、財務省 田嶋一基、農林水産省 浦邊織奈）が今別町を訪れました。
3名は、4日間で役場各課、教育委員会教育課の指導のもと、担当課の業務内容のほか、町内施設・観光地の見学や体験交流を行いました。
研修最終日には、町長・副町長を始め、各担当課長・次長が参加して意見交換会が行われ、町政に関する意見を国家公務員の視点から述べました。

1日目

〈総務課 総務〉

- ・ 総論説明
- ・ 概況説明
- ・ (行政機構)
- ・ (町財政状況)
- ・ (消防防災関係)
- ・ 町内防災関係設備巡回視察



行政・町の概況説明

〈企画課〉

- ・ 青函トンネル及び北海道新幹線概要説明
- ・ 観光施設及び新幹線駅舎建設予定地見学



もずくうどんの製造体験



新幹線駅舎建設予定地見学

2日目

〈総務課 税務〉

- ・ 税務窓口業務
- ・ 町税の概要説明
- ・ 収納・滞納状況等の説明
- ・ 税務収納業務同行



放課後子ども教室体験（今別小学校）

〈教育委員会 教育課〉

- ・ 公民館活動交流体験
- ・ 放課後子ども教室体験

3日目

〈産業建設課 産業〉

- ・ 体験農園実習
- ・ 農産物加工実習



窓口業務・事務体験



農園でのアスパラの収穫・調理体験

〈町民福祉課 町民・福祉〉

- ・ 窓口業務
- ・ 住民票・戸籍関係交付事務等
- ・ 生活保護状況説明
- ・ 民生委員協議会から報告
- ・ 介護認定調査・医療費等申請受付事務

4日目

〈産業建設課 建設〉

- ・ 今別浄水場巡回業務同行
- ・ 今別水源池清掃作業
- ・ 上股川河川及び町道パトロール

水源地の見学



浄水場見学

〈研修報告・意見交換会〉



最終日、活発な意見交換が行われました



最後に、3名は今別町の豊かな自然と、美味しい特産品にとっても感動したそうです。
これからも、今別町を第二の故郷と思い、サポートして行きたいと語ってくれました。

青森北高校今別校舎

体育祭

7月1日、青北今別校舎グラウンドで同校の体育祭が開催されました。学年対抗で優勝を争い、3年生が総合優勝を果たしました。
今年は、新たな競技を取り入れるなど、例年以上に盛り上がった体育祭となりました。



テーマ：Going My Way



力を合わせて勝ち取った優勝は最高ですね

平成23年度 今別町成人式開催のお知らせ

☆日時 平成23年8月15日(月)午前9時40分から
☆開催場所 今別町中央公民館
☆対象者 平成3年4月2日
～平成4年4月1日までの出生者

- 《今別》・泉谷 優斗 ・猪ノ口貴史 ・平山 大地
・南 裕次郎 ・山崎 大志 ・相内濃乃香
・上野 星 ・木村 千夏 ・工藤 聡子
・佐渡 伊織 ・山内 麻未 ・有馬 三菜
- 《浜名》・太田 智之 ・川村 広之
- 《大川平》・相内 俊元 ・泉 光 ・小鹿 春菜
・中道 祐斗 ・新岡 里美 ・平山 友希
- 《二股》・相内 香穂 ・相内 敦美 ・嶋中 沙理
・本郷実彩紀
- 《鍋田》・相内 貴宏 ・相内 凌 ・相内 麗
・赤石 瑞樹 ・三浦 豊 ・大澤 優穂
- 《村元》・神 瑞希 ・川村 和
- 《山崎》・澤田 大樹 ・島中 幹也
- 《大泊》・木村 涼 《砂ヶ森》・蝦名 竜樹
- 《奥平部》・山田 晃大 ・佐々木 彩華

※名前のもれている方がありましたら、
今別町教育委員会(35-2157)へお知らせください。

田中富士子さん7年間母校へ寄付金を

さいたま市在住の田中富士子さん(今別出身 旧姓石川さん)から、「中学校の活動に使ってください」と、7年間続けて母校の今別中学校へ寄付金を寄せていただいています。

本当にありがとうございます

こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

夏の日差しを浴びたあとは・・・

夏の思い出とともに、こんがり日に焼けていませんか。
こんがり焼けた肌は、健康的に見える反面、一種のやけどの状態であるとも言えます。また、年々蓄積された紫外線は、肌への刺激となり、シワやシミの原因になると言われています。日焼け止めクリームを塗っても、日焼けはしています。
たっぷり日差しを浴びたあとは、正しい処置で、肌への負担を減らしましょう。

日焼けをしたあとは・・・

- ①まず、日焼け部分を冷やす・・・
日焼け部分を冷やすことが、大事です。日焼け後は、炎症が起きている状態なので、早めに熱をとってあげましょう。
- ②水分補給・・・
日焼けしたあとは、体からかなり水分が奪われている状態です。日焼けしたあとに、疲労感や脱力感があるのは、脱水状態にある可能性もあります。こまめに十分な水分補給をしましょう。
- ③刺激を避ける・・・
日焼けはやけどをしている状態なので、熱い風呂は避け、ぬるめのシャワーにしたり、日焼け部分にあまり触らないようにしましょう。
- ④たっぷりの保湿・・・
日焼け後は、皮膚がかなり乾燥している状態なので、よく冷やしたあとは、たっぷり保湿することが重要です。そのままにしておくと、シワ、シミの原因になります。冷やした刺激の少ない化粧水をたっぷりつけることも効果的です。
- ⑤栄養補給と睡眠・・・
外側からだけではなく、内側からも新陳代謝を活発にして、肌の回復を促すことが必要です。そのためには、たっぷりの睡眠を心掛けるとともに、ビタミンCやEを多めにとるなど、バランスのとれた食事を心がけましょう。
※注意：水ぶくれができていようなひどい日焼けの場合は、皮膚科などを受診しましょう。

第19回地域伝統芸能全国フェスティバルあおもり

「日本の祭り in 青森2011」

全国の伝統的なお祭りが
青森に大集結

地域伝統芸能の全国イベント「日本の祭りin青森2011」が9月24日・25日に青森市文化会館(メイン会場)と青森バイエリア(サブ会場)で開催されます。

今別町からは地域伝統芸能団体として「大川平荒馬保存会」が25日に青森市文化会館で公演します。

そのほか、県内からは五所川原市の「立佞武多」、青森市の「ねぶた祭り」、八戸市の「えんぶり」など、県外からは宮崎県の「高千穂神楽」や岩手県の「北上鬼剣舞」、徳島県の「阿波おどり」などが、そして海外からは韓国や台湾の伝統芸能が出演する予定です。

サブ会場では、「あおもりうまいもの市」、「ご当地グルメ屋台村」などの各種イベントも行われます。

メイン会場・サブ会場とも入場無料ですが、メイン会場の青森市文化会館会場は事前の申込みが必要なので、観覧を希望される方は下記の方法よりお申し込みください。

申込方法：公式ホームページ観覧専用フォーム、はがき、メール、FAXのいずれか
必要事項：郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数(申込み1件につき2名まで)、
観覧希望日(24日、25日のいずれか)

申込み先：・はがき/〒030-8570
青森市長島1丁目1-1 青森県庁 観光交流推進課内
「日本の祭り」観覧希望係

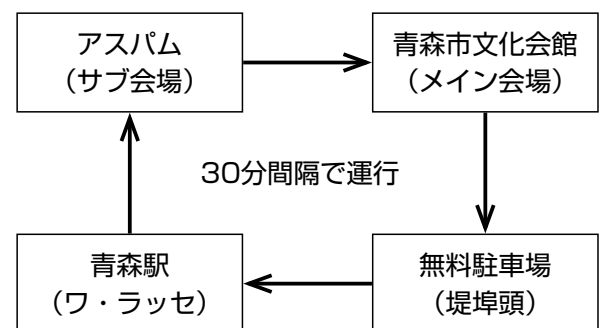
・メール/shinkanko@pref.aomori.lg.jp
・FAX/017-734-8126

申込期限：平成23年8月19日(金)まで(必着)

詳しくは、公式ホームページをご参照いただくか、県観光交流推進課へお問い合わせください。

- 「日本の祭りinあおもり2011」公式ホームページ <http://matsuri2011.jp/>
- 県観光交流推進課 TEL 017-734-9389

無料シャトルバスも運行!



無料シャトルバスの詳しい運行スケジュール等は左記の公式ホームページに掲載しています

全国一斉 「高齢者・障害者の人権あんしん相談」 強化週間

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会が全国一斉に相談日を設け「高齢者・障害者の人権あんしん相談」を下記のとおり開設します。

日時 9月5日(月)～9月11日(日)まで
時間 午前8時30分から午後7時まで
土・日曜日は午前10時から午後5時まで
電話 全国共通人権相談ダイヤル
0570-003-110

内容 高齢者や障害者に対する虐待に関する電話相談
《問合せ先》
青森地方務局人権擁護課 (TEL 017-776-9024)

腸炎ビブリオ食中毒に注意!!

夏は、食中毒が多発しますが、なかでも腸炎ビブリオによる食中毒が猛威を振ります。腸炎ビブリオは繁殖するスピードがとても速いので、食品は正しい取り扱いをし、食中毒を予防しましょう。

食中毒を予防する6箇条

- ①魚介類は最後に買い、運搬には保冷剤等を使用しましょう。
- ②魚介類は持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫に入れましょう。
- ③調理の前後には、せっけんを使い十分に手洗いをしましょう。
- ④魚専用の包丁、まな板を準備し、使用後は熱湯で消毒しましょう。
- ⑤腸炎ビブリオは熱に弱い菌なので、十分加熱しましょう。また、真水にも弱いので、生で食べる場合は、水道水で十分に洗浄しましょう。
- ⑥調理後はすぐに食べましょう。

後期高齢者医療制度の運営に関する 『運営懇談会』委員を公募

- ◎職務 後期高齢者医療制度の運営に関する意見・提案を行っていただきます。
- ◎任期 委嘱の日から2年間
- ◎応募資格 県内在住の40歳以上の方で、平日昼間、青森市での会議に出席できる方
- ◎募集人員 8人(応募者の中から選考により決定)
①被保険者 6人
②65歳以上障害認定の被保険者 1人
③後期高齢者医療以外の医療保険被保険者 1人
- ◎応募方法 応募用紙及び「後期高齢者医療制度に関する意見(400字程度)」を提出
- ◎応募期間 平成23年9月1日(木)～22日(木)
- ◎謝礼等 会議1回の出席につき謝礼5,000円及び交通費(公共交通機関利用実費相当額)
- ◎問合せ先、応募用紙等の配布
・今別町役場 町民福祉課 町民窓口(35-3003)
・青森県後期高齢者医療広域連合 総務課(017-721-3821)
<http://www.aomori-kouikirengou.jp/>

日本年金機構からお知らせ

年金受給権者の皆さまへ

平成23年7月より住民基本台帳ネットワークから住所変更等の情報を取得できるようになったため、これまで、ご本人様に提出いただく「現況届」を原則不要としていることに加えて、

→平成23年7月より

- ・ご本人様より提出いただく「住所変更届」⇒原則不要
- ・ご遺族様より提出いただく「死亡届」⇒原則不要となります。

- ※1 日本年金機構において、住民票コードが収録されている方に限ります。
- ※2 年金事務所等への「死亡届」が不要となるのは、死亡の事実があったから、戸籍法上の届出期限である7日以内に市区町村に届出を行われた場合のみです。ただし、亡くなられた方の未払い年金を受けられる場合は、これまでどおり年金事務所等への請求が必要です。

《問合せ先》

「ねんきんダイヤル」0570-05-1165(平日8:30～17:15)
※IP電話・PHSからは03-6700-1165

外ヶ浜警察署からのお知らせ

<警察官Bの募集>

警察官B【男性・女性】

青森県人事委員会及び青森県警察本部では、警察官Bの採用試験を行います。試験日程、受験資格等は次の通りです。

- 試験案内等配布日 : 7月15日(金)
- 受付期間 : 8月8日(月)～9月2日(金)
- 第一次試験 : 9月25日(日)[青森市、八戸市、弘前市]
- 第一次試験合格発表 : 10月7日(金)
- 第二次試験 : 11月上旬[青森市]
- 最終合格発表 : 11月下旬

職種	試験区分	受験資格
警察官B	男性	昭和54年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者。ただし、大学卒業者及び卒業見込み者を除く。
	女性	

警察官B(男性)を希望する方は、警視庁、埼玉県、千葉県、神奈川県及び静岡県の警察官を同時に受験することができます。

採用予定人員については、試験案内(申込書)を入手してご確認ください。受験手続き等の詳細については、下記に問い合わせください。

《問合せ先》外ヶ浜警察署: 22-2211 今別駐在所: 35-2029

《外国人の不法滞在者等取締りに関する協力依頼》

平成23年1月1日現在の不法残留者数(法務省統計)は7万8,488人であり、これに不法入国者(推定)を加えた不法滞在者数は10万人を割り込んだと推定されています。

これら不法滞在者の多くは不法に就労していると見られ、警察としても入国管理局等関係機関と連携した取締りを行っています。これら不法滞在者の検挙は年々減少傾向にありますが、潜在化する不法滞在者の取締り強化は治安対策上の重要課題となっていますので、その点をご理解のうえ、地域住民の方々からの情報提供をよろしくお願いいたします。

なお、外国人の方を雇用する場合は、必ず旅券(パスポート)または外国人登録証明書を呈示させたいうえで、在留資格と在留期限等を確認してください。不法滞在者と知って雇用した場合、法律により処罰されます。

《問合せ先》外ヶ浜警察署 TEL 0174-22-2211

議会だより

発行/東津軽郡今別町議会
編集/議会広報委員会

No.168

第394回定例会

第394回定例会が平成23年6月17日召集され、日までの7日間の会期で開催されました。提案された議案は、報告1件、専決報告9件、平成23年度補正予算6件、条例1件、人事案件1件のあわせて18議案で、いずれも原案どおり承認、可決、同意し、会期を1日繰り上げて22日閉会した。

◆ 条例関係 ◆

○今別町税条例の一部改正
東日本大震災に係る地方税法の改正によるもの。

◆ 報告 ◆

○平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

◆ 専決報告 ◆

○今別町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○平成22年度今別町一般会計補正予算

歳出に公共用バス待機場整備工事58,000千円など134,449千円を追加し、予算総額を2,639,340千円としたもの。

○平成22年度今別町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算

保険税12,027千円を減額し、予算総額を618,188千円としたもの。

○平成22年度今別町後期高齢者医療特別会計補正予算

繰入金5千円を減額し、予算総額を41,507千円としたもの。

○平成22年度今別町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算
歳入歳出の調整をしたもの。

○平成22年度今別町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算
介護予防サービス費332千円を追加し、予算総額を36,253千円としたもの。

○平成22年度今別町簡易水道特別会計補正予算
歳入歳出の調整をしたもの。

○今別町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正によるもの。

○今別町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正によるもの。

○今別町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正によるもの。

◆ 陳情・請願 ◆

○「所得税法第56条廃止を求める意見書」を国への提出を求める陳情書

(継続審議)

補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	49,790	2,454,609	イベント用ステージ購入費 2,754 山崎・大泊集会施設改修工事 7,700
国保(事業勘定)	1,053	592,151	職員異動に伴う給与等調整
国保(診療施設)	△1,567	147,311	職員異動に伴う給与等調整
介護(保険事業)	△1,106	382,670	職員異動に伴う給与等調整
介護(サービス事業)	△54	18,234	燃料費の減額
簡易水道事業	△8,812	121,034	職員異動に伴う給与等調整

◆ 予算関係 ◆

○平成23年度一般会計及び特別会計補正予算について可決されました。

一

般

小鹿 勉 議員

○広域消防事務組合負担金について

【質問】青森地域広域消防事務組合負担金の今別町分は1億円以上出さないと言うことで、当町の今年度当初予算に1億円の負担金を計上されています。

しかし、先の青森地域広域消防事務組合の議会では、当町の負担が1億2千3百万円余りとなっているのが、その内容がどのようになっているのか。

町長 青森地域広域消防事務組合今別分署は、昭和47年に設置され、38年間に渡り、今別は6割・旧三厩が4割の負担割合でやって来ましたが、三厩は外ヶ浜に合併し我々として何ら旧三厩に遠慮する事なく、今までの不公平な割合を是正するように努力して来ましたが、ようやく20年度から協議が軌道にのり、昨年度消防本部の立ち会いのもとに両総務課長会議が繰返し協議した結果、負担割合を5対5に決まったと報告を受けていたが、私も安心して当初予算に1億円を計上したところでありました。

私は、この不公平な割合を強行した場合、今別は消防部門も分署から無くし、自衛消防隊を役場内に組織し対応する考えを明らかにしています。

なお、救急部門は一層の充実を図る考えであります。

○震災による停電対策について

【質問】去る3月11日午後2時46分ころ発生した、東日本大震災では当町では30時間以上に及ぶ停電となり、町民は非常に不安に駆られました。

また、計画停電も東北電力では中止となりましたが、4月7日夜に発生した地震による停電がありました。町の防災計画も合わせ、停電対策はどうなったのか。また今後の災害に備えた対策はできているのか。

質

問

【総務課長】今回の地震により、今別町でも停電が長時間に渡りました。役場で所有する発電機が不足し、業者から借りたり、分団の発電機を使わせていただき、どうか乗り越える事が出来ました。地震や津波によるケガ人も無く、家屋などにも被害がありませんでしたが、停電時の対応を含め、様々な課題も見えてきました。

このため、職員から「当日の行動」「改善すべき点」などについて、報告書を出させました。

この意見を精査し、役場内機能保持を含めた各施設の停電対策や見直し、避難方法などを検証し、地区総代・消防団・民生委員などとの協議を進める事としております。

また、「今別町防災計画」「避難勧告の判断・伝達マニュアル」を基本としながら、緊急時に何をなすべきか。どのように行動すべきかを、分かりやすく簡素にした「初動マニュアル」を作ることとしております。

また、不足している設備についても、早い時期での対応を検討しますので、ご理解をお願いします。

長島 三千次 議員

○奥平部地区津波による緊急避難路について

【質問】去る、3月11日の東日本大震災では奥平部地区では避難場所に大変苦慮いたしました。

当地区には山の上に立派な避難所を造っていただきましたが、避難路が急勾配なことと距離が遠く非難するにも困難状況です。

特に当地区は、高齢者が多く今回の地震では「奥平部と綱不知」の中間にある高台に避難いたしました。この通路は、階段が老朽化しコンクリート劣化により足元が良くありません。この通路階段は今後も災害時には緊急避難路として多く活用されますので、早急に整備していただきたい。

【産業建設課長】 3月11日の東日本大震災で当町は、幸いにして大きな被害はありませんでしたが、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。今回の大震災の津波で考えられることは、町のこれまでの指定避難場所が高台でない場所もあり、今後大きな被害がでることが予想されます。

このため各地区の避難場所の見直しと必要な備品、機器等の確認をしているところでもあります。

ご指摘の緊急避難場所の階段ですが町としても奥平部地区の第一避難所と考えており、この階段が老朽化と劣化により危険なことは確認していることから、今後災害時のための避難路整備を早急に着手したいと考えています。

また、県で整備しました山の上の避難所についても未整備の避難路があることから、整備をお願いしたところ今年度中に整備することですのでよろしくお願いたします。

○海岸地区の防災無線利用負担金について

【質問】 大泊・砂ヶ森・奥平部地区の3地区では、平成7年より今別町防災無線の子基地局を設置し、地域の活動や防災無線として利活用しておりますが、その基地局の利用負担金を毎年10万円ほど町に支払っております。いま各地区では高齢化が進み、世帯数も減少し、この利用負担金が、地区を運営していくための大きな負担となっております。

どうか地域の諸事情をお察し頂き、利用負担金の免除はできないものか。

【総務課長】 昨年度までは、大泊・砂ヶ森・奥平部の3地区が、回線使用料として1

地区当たり99,624円を負担していただいております。

砂ヶ森地区は、今年の3月で使用を中止しておりますが、世帯数の減少などにより、地区運営が厳しい事情も理解できます。検討させていただきまますので、ご理解をお願いいたします。

本郷議員 議員

○農林水産業に対する補助事業の取扱いについて

【質問】 農林水産業に対する補助金の事業停止があると相談を受けました。震災前に、補助申請がなされた農林水産業の取扱いについて、今後震災前と変わらず取り組んでいくのか。

そのほか、どのような事業対象があるのか。

【産業建設課長】 1点目の民有林造林補助事業であります。平成23年度から森林法の一部改正により、補助造林事業内容が改定され、新植、下刈り、除伐作業については従来どおりですが、間伐、枝打ち作業については、大幅に改正されました。

今年度実施分については、10月まで事業を完了できる方については、従来どおりの補助対象となります。今後の間伐事業については、団地化面積5ha以上、搬出間伐材1ha当たり10m以上が対象となり森林経営計画に変わる森林経営計画の作成が必要となります。

2点目の認定農業者の支援事業であります。農業経営展開支援リース事業は、平成21年度で事業が完了されており、県にそれに変わる事業を問い合わせましたが、該当事業が無いとのことですのでよろしくお願いたします。

○危機管理について

【質問】 災害時は、初動通報指示マニュアルの有無についてどうなのか。今回役場機能の電源がなくて、機能していませんでした。役場機能のバックアップ態勢を

どうもって行くのか。

【総務課長】 今回の地震により、様々な課題などがありました。役場の機能保持や避難場所の設備整備、あるいは通報・避難指示などについて検証し、問題点を洗い出し対策を講ずることとしておりますので、ご理解をお願いいたします。

○個人情報について

【質問】 前回、温泉に対するアンケート結果を、毎戸に配布したのはどのような目的があったのか。個人情報をごどのように守り抜くのか、取り組みはあるのか。

【企画課長】 昨年度実施した温泉事業に関するアンケート調査では、町民の皆様が大変なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

アンケートの集計結果により、残念ながら事業は実施されないこととなりましたが、これも町民の皆様のご貴重な民意として重く受け止めているものであります。

その内容については、可能な限り町民の皆様へ、率直にお知らせする必要があります。個人情報やプライバシーに配慮した上で、今回の方法を選定したものであり、決して個人を特定し中傷するものではないということをご理解いただきたいと思います。

富士直治 議員

○わが町の緊急災害対策について

【質問】 今回の大震災では、多数の方がお亡くなりになり、太平洋沿岸では津波によって、1次産業は破滅し、工場、インフラ等設備も大被害をこうむりました。

さらには、福島の問題、風評被害不況に追い打ちをかける形となった今回の災害であります。そういった中で今回幸運にも直接的な被害のないわが町も、いろいろな有事の際に、不備、不足等が見えてきたのではないのでしょうか。わが町の停電と電話等通信手段が不通

となり、大変不便が感じられました。指定避難場所への避難は、地震発生が日中だったこともあり、緊急事態の中にあっても職員の方や地域リーダーの活躍で、比較的素早い行動ができたのではないのでしょうか。

しかし、事後再評価してゆくと、積雪のため避難場所への移動が困難だったり、津波を考慮していないためか、現在指定されている避難場所の海拔が川沿いであっても低い箇所もあります。

そこで、今回の災害を教訓として、今回被災された地域の災害規模を想定した防災マップや避難指定場所、防災マニュアルの改訂が必要だと考えます。特に、現在の設備、場所での対応できない地域があれば避難場所の確保は早急に必要ではないか。

また、電力が不通になった場合、自家発電の必要な箇所が想定されます。その一つは、役場庁舎であると思います。役場は、有事の際には危機管理対策室が設置され、町全体の状況を把握し、避難命令等具体的な危機対策を検討指示する危機管理の中核であるからです。今回は、急ぎで発電機を借りてきて対応したようですが、今後はどのような対策を取るのか。

【総務課長】 今回の地震により、防災対策の改善箇所があったことは、議員のおっしゃるとおりだと思います。

また、避難指示の発令も経験がなかったこともあり、手間取った部分もありました。

これらを解決するための対応を、急いでいるところでもあります。また、町で出来ない部分については、県などに要望し改善を図りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

○1次産業の活性化への取り組みについて

【質問】 報道で今回の震災により、農地の甚大な被害を受けたことにより、食糧不足が取り出さされています。そのため、

これらは地域の1次産業、とりわけ農業が重要視されてくると思います。

そこで、わが町では後継者不足から休耕田、旧耕作地がたくさんありますが、再利用の支援対策はあるのか。

また、高齢のため、収入が少ない方で自給のため小規模な農地で農業をされている方もたくさんいます。そういった小規模であっても農地を守り耕作されている方々に、国も含めた行政の保護援助等の取組みはあるのか。

【産業建設課長】 小規模で自給農家が作付けしている農作物にたいしての鳥獣被害等の取組み、対策に関して質問と思えますが、4月にサルによる農作物被害が綱不知・砂ヶ森地区から発生し、猟友会への駆除許可を6月12日まで行ったところでもあります。

今も襲月地区からサル被害の連絡があり猟友会へ依頼をお願いしているところでもあります。

今年度は、県から鳥獣被害防止総合対策交付金が交付されることから、よりきめ細かな被害防止の取組みができるものと思っております。

また、海岸線の各地区へ箱ワナも設置する予定であり、今後も被害防止のため最大限努力しますのでご理解をお願いします。

富士和比古 議員

○東北大震災について

【質問】 3月11日の大震災については、被害者が2万人にのぼる、歴史に無いほどの規模のものでした。余震もいまだに震度4を超えるものが度々起こり、いつになったら終息するものか、科学者にも予測がつかないということでもあります。遅ればせながら、被災者に対し心よりお見舞いを申し上げます。

私たちも、議会の総務委員会や南三陸町を訪問し、義援金と支援物資を届けて参りました。その際には、各町内会より多大なご協力を頂き心から感謝を申し上げます。

今回の大震災では、政府の対応の遅さと、まづさが毎日のように報道されており、地震、津波とさらには、原発の爆発が追い討ちをかけて、被災地域では地獄絵図を見るような有様であります。わが町としては、幸いに大きな被害はありませんでしたが、今後どのような計画を立てていくのか伺いたい。

【総務課長】 今回の地震による課題や取組状況につきましては、前段の質問にお答えさせていただきますが、設備などの整備も重要でありますので、充実に努めたいと考えております。

「今別には津波などが来ない」のではなく、「何時でも災害が起きる可能性がある」と言う、危機意識を持っていただくことも大変大事でありますので、危機意識の啓発にも努めたいと考えております。

これらを含め対処して参りますので、よろしく申し上げます。

○観光事業について

【質問】 先日、他町村の方から、いまべつの二股地区の道路沿いに春一番に咲く水芭蕉について、観光バスが止まって写真を撮っているのを、何度か見かけたという事でした。あのよう美しい花であるから、町の観光スポットとして取り組むのはどうか。

スキー場を再活用して、山一面に季節ごとに花を栽培してはどうか。「水芭蕉の里」とか「芝桜の森」とか「コスモスの庭」とか、ポランテアの有志を募って協力して頂き、花一面の里を作って観光事業として取り組めないものだろうか伺いたい。

【企画課長】 最初にご指摘のあった二股地区の水芭蕉については、個人の管理用地にある水芭蕉だと思われませんが、これを今後、どのような形で観光資源として活用できるのか、様々な角度から調査検討して参りたいと思います。

次に、スキー場の再活用を目指した、季節ごとに花々の栽培というご提案ですが、当該スキー場については、以前にも

コスモスや芝桜の植栽を行いました。ゲレンデ敷きについては表面が粘土質であるため、肥培管理が難しく、一度断念した経緯があると認識しています。

但し、十数年前の事業であり、最近新たな管理技術などが無いものか、また、観光施設としての有効活用方法も含めて、今後検討して参りたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

○財政について

【質問】 一度は財政危機に陥り、第二の夕張になるのではとまで言われたが、町長の決断により一般会計は黒字となり、町長の公約でありました庁舎の改築を始め、各地区会館の修理、公民館の全面改修と胸をなでおろしているところでございます。しかしながら、町民の中には黒字決算になったのなら、水道料をもとに戻すべきであるとか、真に理解できかねている方も多くおります。この機会に今一度町長の口から広く町民に説明をすべきではないかと考えますが、いかがか。

次に、「過疎地域自立促進計画」を見ると、5年間のいろいろな計画が打ち出されておりますが、町長として残任期間中にどの計画に力点をおいていくのか伺いたい。

また、町民が安心して暮らせる街づくりのために、どのような計画をお持ちなのか伺いたい。

【町長】 今別町の財政ではありますが、私が始めて就任した当時は、財政はすでに赤字にまみれその為、改善策を立て財政は幾分改善されたと思われた時、小泉内閣の三位一体改革が断行されたのであります。それでなくても赤字財政のやり繰りでかろうじて行政を取り行ってきたところに、容赦なき改革の断行は、町の財政を根底から揺さ振られ、3年位で第2の夕張かと夜も眠れない日が続き、どんな事があっても町民を困らせるような財政破綻だけは、どうしても避けるべきと決意し、議員の皆さん・職員の皆さん・町民の皆さんのご理解と温かいご支援を頂き、今日の黒字財政になったのであります。

20年度で始めて少しではありますが、約5千300万位の黒字になった時は夢ではないかと喜んだものでした。昨年度は、一般会計で約1億8千万余りの黒字が出た事は、誠に喜ばしく関係する皆様方に心より感謝しているところであります。

この黒字は、法の定めにより約50%は財政基金に積立することになります。残り約9千百万円は23年度に繰り入れ、奥津軽駅の整備や町民の生活向上などに活用する考えであります。

町民の中から財政が黒字になったのなら、水道料を元に戻すべきだとの声は私にも聞こえています。

しかし、それが妥当かどうかは課題として、議論すべきことと思いますが、水道会計の取り巻く状況を見た場合、かなり難しい問題であります。

今でも4千2百6拾6万7千円を一般会計から繰り入れしている現状を見た時、更に給水ポンプの問題・奥津軽駅の給水事業などを勘案した場合、非常に難しい問題だと思えます。

次に、過疎地域自立促進計画の中で、町長の残任期間の中でどの計画に力点をおくかということです。これは、年次によりの確に実施するのが望ましいと考えますが、あえて言うならば奥津軽駅の開業は、町の将来にとって千載一遇のチャンスであることは、議員の皆さんと同様の考えであります。その機会を活かすための出費が多くなるのは当然の事であり、しかし、町民の生活の向上も欠かせない問題であり、限られた財政の中で、残任期間でやる事が多すぎて熟慮の上で、実行していきたいと思っております。

○漁業者の生活を守るために伺います

【質問】 促進計画案にも載せておりますが、漁業不振が長期化しており、生活もままならない状況であります。昆布、ウニ、こうなごなど全くの不漁続きであり、かろうじてナマコ漁だけを無理に進めて

いる状態です。一本釣り漁も全く釣れない状態が続いており、地震、原発の影響が出ているのではないかと、言っている方も多くあります。

このような中で、漁業者をどのようにして守っていくのか。

【産業建設課長】 近年、漁業においては地球温暖化等により漁獲高は年々減少しており、町としても心配しているところであります。主体であるヤリイカ漁及びコウナゴ漁が昨年に引き続き不漁状態であり、このたびの東日本大震災においては、一本釣り漁の不漁も聞いております。

今年度は、ナマコ漁が昨年より上回っている状況ですが、毎年種苗の放流事業を実施しており、基準値、禁漁区域を決めていることから、水揚げが上回っているものと思われれます。

このことから、資源管理型漁業を継続し制限することにより、水産資源の確保と漁家所得の安定が図られるものと考え

ています。今年度から、今別地区広域漁場整備事業が新規着工することから、人口礁設置によるウスメバル等の魚の資源保護、増殖の育成事業を進め、町の基幹産業として、支援して参りたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

編集後記

未曾有の大震災から早や4ヶ月、復興支援の際には町民の皆様からの多大な志を被災地に届けることができました。深くお礼申し上げます。これからも、皆さんに読んでいただく親しまれる議会だよりをめざして委員一同頑張っております。

議会広報委員長

福士直治

去る5月6日、3月11日に発生した、東日本大震災で被害に遭われた宮城県日吉郡南三陸町の皆さんに、支援物資を届けに参りました。

当日は、町のバスを借り、朝5時30分から支援物資をバスに積み、5時45分に役場を出発しました。南三陸町には11時30分には着き、被災地をバスで廻り、皆が凄惨な情景を目の当たりにし、ただただビクビクしていました。

その中の一枚が載っている写真です。その後、午後1時30分に皆さんが避難されている、隣街の登米市東和町へ移動しました。避難先では、代表の方々と挨拶を交わし、積んで来た支援物資を全員で下し、運んで貰いました。

物資を引き渡し後、若干の交流会を持ちましたが、お互いに言葉に詰まり、なかなか話がスムーズに進まなかったように思われました。同行した皆は、これからも機会があれば募金等の呼びかけをし、支援して行きたいと考えていました。

その後、一関から高速に乗り今別の



今別町議会議員一同

イマダス

まちの行事予定 (8/1~9/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

8/1 (月)	・後期高齢者医療保険料第1期納期限 ・国民健康保険税第1期納期限 ・介護保険料第1期納期限	町民 税務 福祉
4 (木)	・荒馬まつり(7日まで)《さざなみ公園・町内》	観光協
6 (土)	・県民体育大会ゲートボール競技	教育
15 (月)	・今別町成人式《今別町中央公民館》	教育
19 (金)	・集団検診《開発センター》	福祉
20 (土)	・県民体育大会開会式 バレーボール競技	教育
21 (日)	・県民体育大会閉会式	教育
23 (火)	・献血	福祉
24 (水)	・第2回キクの会 ・小・中学校始業式	社協 教育
29 (月)	・芸術鑑賞教室《今別中学校》	今別中
31 (水)	・後期高齢者医療保険料第2期納期限 ・町・県民税第2期納期限	町民 税務
9/1 (木)	・東郡中学校英語弁論大会《小湊中学校》	今別中
4 (日)	・第19回県民駅伝競走大会	教育
6 (火)	・集団検診《大川平文化会館》	福祉

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」

①氏名 ②地区名 ③将来の夢



- ① 太田 永遠とわ
- ② 西田
- ③ パティシエ

修学旅行で楽しかったことは、自主見学です。私は、2班のみんなと五稜郭から摩周丸に行きました。摩周丸の中に行くと、海が見えたり部屋が広くさんあつたりしました。旧公会堂からアイス通りにも行きました。アイスのお店が並んでいる通りでは、3件目のお店が美味しかったです。中でもパイソフツがおいしかったです。路面電車に乗ることや坂を登ったりすることを楽しみました。疲れはけど、みんな協力できて楽しい修学旅行になりました。

きらりこの人 ⑩

沢田 繁治 さん

(浜名 72歳)



手塩にかけて作った庭を紹介してくれました

今回は、浜名二ツ石に所有している敷地で、長年自分の「庭園」を造っている、沢田繁治さんにお話を伺いました。

繁治さんの庭園は、主に池の部分と、そこから少し下がった場所にある、アヤメ畑に分かれています。庭園の生い立ちについて伺ったところ、繁治さん

平成23年 県内の交通事故概況

あなたも参加
わたしもやります
“交通安全”

青森県交通対策協議会 平成23年6月30日現在

発生	6月中		6月末累計		死者の状況	飲酒運転による死者	高齢者の死者 (65歳以上の人)	自動車乗車中の死者	非着用死者	着用していれば助かったと思われる人
	439件 (-35)	2人 (-3)	541人 (-48)	2529件 (-246)						
死者	2人 (-3)	19人 (-7)	541人 (-48)	2529件 (-246)	シートベルト	2人 (+1)	10人 (-8)	9人 (-3)	3人 (-3)	2人 (±0)
傷者	541人 (-48)	3083人 (-341)								

※()内は対前年比です。また、速報値のため、後日変更することがあります。

戸籍の窓口

(6月1日から30日までの届出分)

お誕生おめでとうございます	今別の姿 (平成23年6月30日現在)
蝦名愛心(善一) 今別	面積 125.28km ²
小鹿叶翔(拓也) 村元	人口 3,400人(-3)
お悔やみ申し上げます	男 1,585人(-1)
米谷かせ(82) 大泊	女 1,815人(-2)
掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。	世帯数 1,577 (+2)
	()内は前月比

編集後記

夏真っ盛り！夏というものは何度経験しても暑いものですね…。暑いと言えば、サッカー女子ワールドカップも熱かった！過去に一度も勝てなかったアメリカに、ワールドカップの決勝という最高の舞台で勝てたことは、今の日本に勇気と大きな喜びを与えてくれました。

「なでしこジャパン」には、次のオリンピックも是非優勝してもらいたいですね。

(広報担当 奥崎 匠)



白や紫やピンクの色とりどりのアヤメ 毎年7月中旬頃が見頃だそうです



風情が感じられる見事な庭園



池の上に可憐な花を咲かせるスイレン